

令和六年度後期日程入学試験【小論文A】（人文社会科学部 人間文化学科）

模範解答例

問題一

問一 ㉑津々 ㉒好例 ㉓会心 ㉔心機 ㉕激励

問二 錬金術師たちが、実利を追うことよりも、分野を異にする学問を組み合わせる新説を生み出すことに熱中したにもかかわらず、弾圧を受けずに安泰でいられたということ。（七七字）

問三 普通の人々が主張すれば一歩乱るようなことを述べても危険分子のあつかいはされないという、一種の安全地帯にいるという点。（五八字）

問四 （二百字の論述問題は、解答者の考えを、一定の制約のもとに、自由に述べさせるものであり、解答例の作成はその性質上、困難であるので、採点基準を以てこれに代える。）

採点基準

- 1、問題文及び設問を正確に読解し、その内容を踏まえて解答していること。
- 1、解答者の考えが論理的に矛盾なく、明確に述べられていること。
- 1、正確で分かりやすい日本語で解答されていること。
- 1、文字表記が明瞭かつ正確であること。（誤字、脱字、不正確もしくは甚だしく判読し難い文字などは減点する。）

問題二

問一 政治の手からこぼれた「迷える一匹」の心を救うのが文学者の使命であるのにそれをせず、軍部の戦争指導に迎合し、戦争協力を行うことで政治の論理に寄り添ったということ。（八〇字）

問二 （二百字の論述問題は、解答者の考えを、一定の制約のもとに、自由に述べさせるものであり、解答例の作成はその性質上、困難であるので、採点基準を以てこれに代える。）

採点基準

- 1、問題文及び設問を正確に読解し、その内容を踏まえて解答していること。
- 1、解答者の考えが論理的に矛盾なく、明確に述べられていること。
- 1、正確で分かりやすい日本語で解答されていること。
- 1、文字表記が明瞭かつ正確であること。（誤字、脱字、不正確もしくは甚だしく判読し難い文字などは減点する。）